

▶お知らせ 2021年卒向けインターンシップ参加者募集中！

12月10日（火）

週刊東洋経済プラス | 四季報オンライン

[トップ](#)[ビジネス](#)[政治・経済](#)[マーケット](#)[キャリア・教育](#)[ライフ](#)

自

[ビジネス](#) ▶ [「合法薬物依存」の深い闇](#)

「デパス」に患者も医者も頼りまくる皮肉な実態

「薬で解決したい」要望を受け処方も気軽に

[« 前ページ](#)[次ページ »](#)

[メディカルジャーナリズム勉強会](#)

2019/12/10 5:20

シェア 159

ツイート

一覧

1

コメント

6

印刷

A A

高齢者でデパス（エチゾラム）が多用されている現状。その具体的な実態については、首都圏で10カ所の在宅クリニックを有し、在宅医療に取り組んでいる医療法人社団悠翔会（本部・東京都港区）に所属する精神科医の中野輝基氏が語ってくれた。

「私たちはほかの医療機関からの紹介で患者さんを担当することがほとんどですが、その中ですでにデパスを長年服用してきた高齢の患者さんではなかなかやめられない、いわば常用量依存と思われるケースは比較的目立ちます。

もともと高齢者では多すぎる薬を服用している多剤併用の問題が指摘されていて、私たちは積極的に減薬に取り組んでいますが、その際に患者さんから『デパスだけはやめないでほしい』とよく言われます。中にはすでに私たちに受診する前の医療機関で減薬されてデパスの中止に至ったはずの患者さんが、担当医が変わったこともあってか『もう一度デパスを出してほしい』と言い出すような悩ましいケースもあります」

精神科医として新たにデパス（エチゾラム）を処方することはほとんどなく、従来デパス（エチゾラム）が処方されやすかった不安の症状がある人には、精神科で標準治療とされる選択的セロトニン再取り込み阻害薬（SSRI）と呼ばれる薬をまず選択する。実際に担当するデパス（エチゾラム）服用患者は前述のようなほかの医療機関で処方されて長年服用している人たちだ。



医療法人社団悠翔会（本部・東京都港区）に所属する精神科医・中野輝基氏（撮影：村上和巳）

「日本では精神的な問題を抱えた患者さんが最初から精神科を受診することにある種の偏見や心理的ハードルがあることは少なくありません。このため不安の症状があっても精神科ではなく、まずかかりつけの内科に行きます。そこで意外と簡単にデパスが処方されてしまうのです。

ただ、デパスも含むベンゾジアゼピン受容体作動薬は薬が効きにくくなる耐性が生じやすく、その結果、次第に量が増えてダラダラと続きやすくなります。最終的に定められた用法・用量の上限に達して手に負えなくなり、私たち精神科へ紹介されてしまう、いわば『敗戦処理』のようなことがよくあります」

中野氏によると、一般内科や心療内科を標榜する医療機関では必ずしも精神科領域での診療経験が十分でないこともあります。依存性の問題を深く考えずに不眠や不安を訴える患者が受診した際に、定型的にデパス（エチゾラム）を処方する事例は数多く経験するという。

心療内科と精神科の違いを知っていますか

ちなみに心療内科は一般にもよく耳にする診療科だが、精神科と混同されて正確に理解されていないことが多い。精神科はまさに不安やうつ病、統合失調症など精神、すなわち心の症状に対応する診療科で、心療内科は精神的なトラブルが原因で胃痛、頭痛、吐き気や倦怠感のように直接身体に出る症状に対処する診療科である。

この心療内科については、大都市部で複数診療科を掲げるクリニックの中で、その1つに標榜されているのをよく目にします。この背景に医師がクリニックを開業時に関与するコンサルタントが、心療内科を掲げると精神科受診にハードルがある患者が集まりやすいことから標榜を勧めるとの噂が絶えない。

この点についてコンサルタント業界に詳しい50代の男性は次のように説明する。

「開業時の標榜診療科については開業支援コンサルタントが介入することよりも、医師本人の希望に沿っていることがほとんどです。ただ、医師が複数診療科を掲げて開業しようとするときにその1つとして心療内科は標榜されやすいのは確かです。

というのも心療内科以外の診療科を専門としている医師も、心療内科が担当するような、検査で異常は見られないのに本人が症状を訴える、いわば不定愁訴の患者を診療している経験がそこそこにあるからなのです」



→ 次ページ 高齢でも熟睡を求めることが無理筋

[1](#) [2](#) [3](#)

コメント (6)

関連記事



合法的な薬物依存「デパス」の何とも複雑な事情



20年間「デパス」を飲み続ける彼女の切実な事情

薬剤師が見たデパス「気軽な処方」が招いた事態

あまりに危険な自撮りが招く最低最悪の結末

30~40代の「孤独死」が全く不思議でない事情

「若者の貧困」に大人はあまりに無理解すぎる

トピックボード

AD



ローランド
もその仕事



子育て共働き
余裕」のつ

「完全テレワーク」の会社だけ生き

メルシャン「新ワイナリー」、熱烈

Windows7サポート終了間近、羽

仲良し夫婦が「毎年12月に習慣化

ビジネスの人気記事

普通の女子高生が「小売の極意」をつかめたワケ

アップルのCEOが「表参道」に突如現れたワケ

連続18年、累計73億円赤字積んだ社長の言い分

ミシュランが「手打ち麺」ラーメンを認める理由

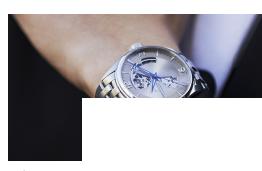
最新版「借金が多い企業」ランキングTOP500社

「10代の誘拐」がツイッターで相次ぐ悲しい理由

連載一覧

トレンドライブラリー

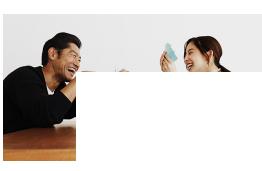
AD



ビジネス
い上品さ
伝統と
たハミ



今ビジネ
アルタイ
「常に最
と強く」



大切な人
仲良し夫
に習慣化



「事後対応」
お粗末だ
事件数|
ウェアリ